

私は一ヶ月の間ホームステイを行いました。私のホストファミリーはメキシコ出身の夫婦でした。そのため夫婦間の会話はメキシコの公用語であるスペイン語で行われ、そして私と会話をするときは英語といった、とても貴重な体験をすることができました。勿論私はスペイン語を一切学んだこともなく話す事もできないので、時間があるときはホストファミリーに英語だけではなく、少しだけスペイン語も教わりました。さらにホームステイを初めてから一週間後にクウェートから来た新たなルームメイトが加わり、その日からは四人で一つ屋根の下生活をしていました。

私がアメリカに行って一番困ったことは朝食です。日本では基本、ご飯と味噌汁そしておかずといった感じで朝食をとっていましたが、私のホストファミリーは、平日は朝早く仕事へ向かうこともあり、起きたときにはテーブルの上にシリアルと果物が準備されているだけでした。しかし数日経つにつれてこの朝食にもだんだん慣れました。その分夕食は毎晩豪華な食事を用意してくれました。また私が「オレンジジュースが好きだ」というと、毎日冷蔵庫にストックしてくれたり、私が日本人であること気づってお箸を用意してくれたり、さらにはライスを作ってくれたり、非常に心温まるおもてなしをしてくれました。一番私が好きだったホストマザーの作る料理は、トルティーヤです。メキシコ出身のご家庭ということもあり、ほぼ毎日、本場のおいしいトルティーヤをいただくことができました。

この夏期語学研修に参加して私は、日本ではほとんど学ぶことのできなかったネイティブとの会話の仕方を学んだり、クウェート人がしゃべるアラビア語なまりの英語や、ホストファミリーがしゃべるスペイン語なまりの英語といった様々な種類の英語を聞いたりすることができました。是非皆さんも海外へ足を運んで新たな自分、土地、人物を発見してみてください。必ずいい経験になりますよ。



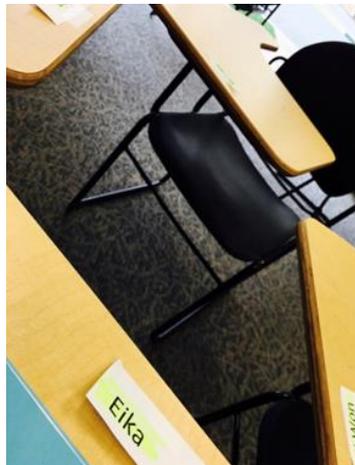
サンディエゴから帰国後、毎日あの日々に戻りたいと思うほど、約一ヶ月で非常に有意義な経験をする事ができました。勿論、最初から楽しいと感じることができたわけではありません。最初の週はクラスで宿題が出たのかどうかも、みんなが何に対して笑っているのかもわからない、いわゆる置いてきぼりの状態で、とても孤独を感じました。

初日にプレイメントテストを受けクラスが決定するのですが、私のクラスは日本人が少ないクラスで、英語を勉強するには非常に恵まれた環境でした。最初のクラスでは、ただただ他の国の生徒の積極性に圧倒されました。彼らは、相槌、疑問、自分の意見、納得いかないこと等、授業を止めてまで全てを声に出していました。それは明らかに日本における授業風景とは大きく異なるものであり、最初は驚きましたが、次第に、非常に居心地よく授業を受けることができました。というのも、そのようなクラスの雰囲気、誤答しても決して恥ずかしくないという皆の意識を一層強くさせ、常に先生と生徒の声の飛び交う、賑やかで活気あふれるクラスだったからです。その空気を作り出していたのは勿論生徒だけではありません。オーラル、リーディング、リスニング、ライティングによって先生が異なるのですが、どの先生も非常に個性豊かで、何より明るくてフレンドリーで、私は心から ALI(American Language Institute)の先生が大好きでした。アメリカでは日本よりもずっと先生と生徒の距離が近く、生徒は先生を下の名前で呼び捨てにします。そのような距離感が、より生徒が授業で発言しやすくなる一つの要因なのだと思います。

オーラルのクラスに関わらず、すべての授業においてペアワークもしくはグループディスカッションの機会が多くあり、授業の中では常にインプットとアウトプットの繰り返しです。また特に印象に残ったのはスラッグの授業の際、ペアを組んで教室を飛び出し、学内でネイティブの人にスラッグを聞いて回る、という取り組みです。初対面のネイティブの人に話しかけるということ自体勇気が必要でしたが、丁寧に教えてくれる方が多く、会話を楽しむことができました。

ALI で一ヶ月授業を受けたことで、自然に積極的な自分が形成されていました。というのも、帰国して大分大学で英会話の授業を受けた際、躊躇なく質問できましたし、無意識に先生のお話に対してリアクションを取っていたことに気づいたからです。また、私は海外で実現させたい夢があるのですが、そのための留学への意欲が一層増しました。語学面における収穫も勿論大きいですが、様々な場所で多くの人々に会い、多様な生き方に触れることができ、視野が大きく広がったことが一番の収穫です。自分は何が好きで、具体的に将来何をしたいのか。自分を知ることは将来を設計する上で必要不可欠ですが、新しいものに触れずして現状の自分に満足することは勿体ないということを実感しました。新しい出会いが、新しい自分を知るきっかけになり得ると今回学んだからです。

サンディエゴでの学びや発見を、今後の自分の人生の指針にしたいと思います。



約一ヶ月の ALI(SDSU)での語学研修は私の学習面、生活面にとっても良い刺激を与えてくれました。私のホームステイ先には韓国人のルームメイトが一人いました。彼は私より一週間早くアメリカに来ていました。しかし、彼は生活していく上で困ることのないぐらい英語を喋ることができました。それは彼に限らず多くの韓国人が母国でしっかりと英語の学習をしてきたからでした。私は自分では高校時代に本気で英語に取り組んだつもりでしたが、それでは全く足りない、学習方法を変え百倍、本気で取り組むべきだと感じました。そんな中でも、日本に帰ってきてリスニング問題や授業の際の先生が言っていることなどが理解できるようになりました。さらに留学生とも会話ができるようになり大きな自信にもなりました。

また、生活面でも様々な部分で見習うべき部分があると感じました。私のステイ先の家族は夜、九時過ぎには消灯し、朝は五時半過ぎからウォーキング、またはジムに行き健康維持にも取り組んでいました。これは私のファミリーに限らず多くの人が行っていました。私も朝から運動をして夜は早く寝るという生活を一ヶ月行いました。



夏季語学研修は州立大学の中にある語学学校に通うために様々な国の英語を学びに来た様々な年齢層の人々と交流ができ、本当に多くのことが学べます。また、SDSU という日本ではありえない素晴らしい環境の大学に通い、多くの行事に参加できます。サンディエゴは気候も良く、住みやすく、観光する場所も多く語学力の向上のみでなく本当にたくさんのことを学ぶ良い機会になります。もし留学を考えていたり、短期だけでも海外に行きたいという人がいれば、私はこの語学研修を利用することをお勧めします。

今回の研修はたくさんの方に気づくいい機会になりました。私は英語力の向上、さらに様々な文化を学ぶために長期の留学にも行くことを希望したいです。

私がこの短期留学プログラムに参加しようと思った理由は、大学生になって初めての約二ヶ月という長い夏休みを利用して、学生のうちにしかできないことをしたいと思ったからです。私は特に英語が好きでも得意でもありませんでしたが出発前はうかれてほとんど勉強しませんでした。しかし、いざアメリカについて授業が始まると先生の言っていることが全く理解できず、何を質問されているのか、何について話しているのかさえもわからず周りの人の行動を見てついて行くのが精一杯でした。私のクラスは半分ほど日本人がいたのですが長期留学の人が多く情報をたくさん持っていたため何度も助けられました。ただ文法の授業は中学校レベルのモノが多く日本人にとってはとても簡単だったと思います。

授業は午後13時に終わるので私は毎日のようにサンディエゴの町を探索し地元で有名なお店や景色を見て回りました。サンディエゴは私が思っていた以上に平和な町で日本人だと気づいて話しかけてくれる人もいました。ホストファミリーの料理は毎日おいしく私の上手ではない英語を何度も時間をかけて聞いてくれました。しかし夜帰りが遅くなって最終バスを逃したときに、クレジットカードでしか利用できないとても便利なタクシーのアプリ(Uber)があるのですが、私はクレジットカードをもっておらず利用できずにとっても困りました。クレジットカードは持っていた方がよいと思います。

この一ヶ月の短期留学を通して学んだことは多くあります。例えば日本の大学の授業では先生が話しているだけの講義も少なくないと思います。にもかかわらず ALI の授業では誰もしゃべらない授業がないと言っていいほどみんな積極的で、自分の意見を言う時間が多く与えられていたような気がします。私も最初は積極的に自分の考えを言う勇気が出ずに黙っていたのですが、本当にまるで自分がクラスにいないかのように扱われ、これではだめだと何度も思いだんだんと自分から会話を始めるなどの行動力がついたと思います。

最後に私がこのサンディエゴ留学に参加できたのもお金を出してくれた両親、パスポートや飛行機の手続きなど手助けをたくさんしてくれた先生に感謝の気持ちでいっぱいです。夢のような一ヶ月でした。



私は、サンディエゴ夏季語学研修での体験を通して、次回以降に参加する皆さんに伝えたいと思ったことを書こうと思います。

まず最初に、英語についてです。私は英語があまり得意な方ではなく、特に文法が苦手でしたが、簡単な単語を組み合わせていけば会話は何とかなるだろうという楽観的な考えで語学研修に臨みました。実際、必要最低限の会話ならば成り立ちます。しかしそれでは、ホストファミリーや他の留学生との日常会話の際に細かいニュアンスが伝わらず、あまり会話を楽しめません。できるだけ語彙力を増やし文法もしっかりと学んだ上で参加する方が、より楽しく、充実した語学研修になると思います。

次に、万が一のことを考えておいて欲しいということです。たった1ヵ月という短い期間ですが、何があるかわかりません。私は帰国5日前に体調を崩し、40度の熱が出ました。まさか風邪をひくと思っていなかったので、風邪薬は少ししか持っていないでました。そのため、授業を休み、ベッドの上で最後の数日を過ごしました。あまりに高熱が続き、飛行機に乗れるか心配になったのでホストマザーに薬をもらい、帰国前日にやっと熱が下がりました。私は副作用が出なかったため良かったのですが、やはり飲み慣れている薬を持っておく方が安心です。他の参加者のみんなは、体調を崩すことなく元気に最後まで過ごしていましたが、私の様に体調を崩してしまう場合もあります。今は、ホストファミリーに体調が悪いことを伝えたり、薬の説明書を読んだりすることで日頃使わない単語に触れることができたので、ある意味良い経験だったと思いますが、その時はとても不安でした。風邪だけでなく、他にも何が起こるかわかりません。最悪の事態を考えておくと、安心して研修期間を過ごせると思います。

このレポートを読んで、語学研修に参加するのが少し怖くなった人もいるかもしれませんが、1ヵ月間異国の地で生活するというのは、おそらく大学生である今しかできない貴重な体験です。そして何よりも、一生心に残る楽しい思い出になりました。参加するかどうか迷っている方には、必ず参加して欲しいと思います。そして、しっかりと準備をした上で、有意義な1ヵ月間を過ごし、一回りも二回りも成長してきて欲しいです。



大学のボーリング場
シューズ代の1ドルだけで利用出来ます

私は、大学二年の夏休み、サンディエゴ州立大学で行われる短期語学研修に参加しました。そこで ALI という留学生を受け入れる機関で授業を受けました。1クラス20人ほどで分けられ、日本の大学生のほかに、韓国やサウジアラビア、ブラジルなどからの留学生もいました。授業ではペアやグループでの活動が多かったように感じます。自分から英語で会話する機会が増えただけでなく、留学生と仲良くなれたりその国の文化なども知ることができました。また、授業では生徒の質問や発言が多く、その一つ一つに先生が丁寧に答えていました。授業はすべて英語で行われるので慣れるのに時間がかかるかもしれませんが、授業の空気はとても明るくて楽しく受けられます。



放課後にはショッピングをしたりアメフトやメジャーを見に行ったり、休日には水族館やビーチ、さらに泊りがけでロサンゼルスにも行きました。日本とは違うレストランでの会計などわからないことだらけだったけれど、アメリカでの生活やマナーなどを知ることができてよかったと思います。どこへ行っても楽しく充実した日々を送ることができました。

今回ホームステイをしていたので家ではホームステイ先の家族と過ごしました。私は初めての海外であまり英語も話せなかったのが最初はなかなか話すことができず、用がない時は部屋に引きこもり状態でした。けれど、子どもたちがテーブルゲームやバスケットに誘ってくれて話す機会をたくさん作ってくれたので、少しずつその日の出来事や日本での生活について話すことができるようになりました。本当に優しく、親切なホストファミリーに感謝でいっぱいです。

一か月という短い期間だったけれど、今回このプログラムに参加して本当によかったと思いました。楽しいばかりでなく、英語が聞き取れなかったり、言いたいことが伝わらず困ったこともあったけれど、大きな経験とたくさんの出会いをすることができました。

私は大分大学の短期語学研修のプログラムで約1ヵ月、アメリカカリフォルニア州のサンディエゴへ留学しました。初日、空港につき私のホストファミリーが迎えに来てくれホームステイ先まで向かいました。その後ホストファザーが入っているヨットクラブのパーティーに連れて行ってもらいましたが、飛行機疲れやまだまだ英語の会話についていけないことなどが重なりあまり楽しむことはできませんでした。そうして初日を終え、次の日から早くも学校が始まりました。クラスは初日にあったテストでレベル分けされていて講義内容は全て英語でもしっかりついていくことができましたのですが、クラスの半分は日本人でしたが、私は残りの半分の外国人の授業への積極性にとても驚きました。分からないことがあればすぐに質問したり、発表の機会があれば自ら進んで発表していたり、日本ではあまりみない光景でとても新鮮な気持ちで講義を受けることができました。

学校は毎日1時に終わるのでそこからはサンディエゴの観光をしたりショッピングモールで買い物をしたりしました。またクラスの人たちと友達になってからは学校の中のビリヤードやボウリングなどをして遊びました。日本人以外と遊ぶようになったのは2週間ぐらいしてからでしたが、そこから英語を少しずつ話せるようになっていったので、今思えばもっと早くに日本人ではない友達を作って遊ぶべきだったなと思いました。

土日はホストファミリーがいろいろなパーティーに連れて行ってくれたり友達とアメフト観戦をしたりしました。パーティーでは様々な人と友達になれていろいろな話を聞くことができとても楽しかったです。

ホームステイ先での暮らしはとても充実したものでした。ホストファミリーは英語を聞き取れるまで話してくれるし、ご飯を食べ終わった後は一緒に映画をみたりおしゃべりをしたりしました。最終日の前日には私の友達を招いてお別れパーティーを開いてくれました。ほんとに恵まれたホストファミリーだったなと思います。

アメリカではいろいろな経験やたくさんの友達など日本では得ることのできないものを手に入れることができました。1ヵ月という短い期間でしたがほんとにいい経験でしたし、また機会があれば行きたいです。



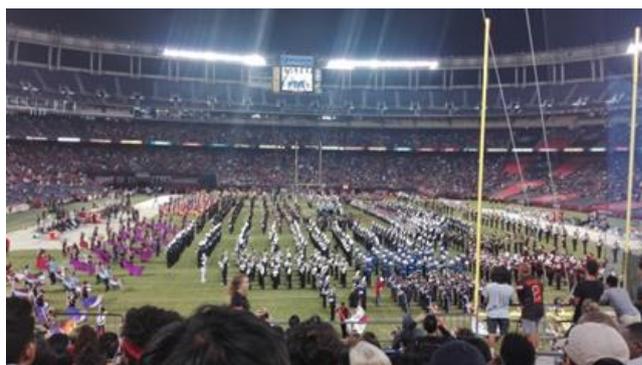
私は夏休みの一か月間を利用して、アメリカのサンディエゴに語学研修に行きました。アメリカに行くのは初めての経験だったので、楽しみでもあり不安でした。しかし、一か月という短い期間であったのでよい経験になればいいなと思っていました。

私は、今回の語学研修において英語の授業中心の生活が続くであろうと思っていたので、現地の観光やアミューズメントパークに行くといったことをあまり考えていませんでした。いざ、サンディエゴに着くと現地で有名なアウトレットやアメフト、野球のようなスポーツ観戦、ビーチ、博物館など行きたくなるような観光施設が多くあり、午前中の英語の授業が終わった後や休日にはサンディエゴの観光を楽しむことができました。しかし、はじめの二週間くらいで多めに持っているつもりだったお金を食費、観光地、ショッピングに使い切ってしまったのもっと多めに持っていく、あるいは海外で便利なクレジットカードを作っておけばと少し後悔しました。けれども、大学内には無料のジムや手軽に遊べるポーリングやビリヤードの施設があったので、そこで大学の授業で知り合った韓国からきた留学生と遊んだりして充実した時間を過ごすことができました。

大学の授業では、日本、韓国、中国、サウジアラビアなど様々な国の学生がおりほとんど英語で話さないといけなかったけれど、言いたいことを伝えられないことが多く聞き取るのも話すのも難しく感じました。毎日、英語の授業を受けることで徐々に聞き取ることはできるようになったけど、英語のフレーズやスラングは難しく、日頃から勉強して、練習しないと自然な会話をするのは難しいと実感しました。

それと、私は、この一か月でアメリカと日本の文化の違いにたくさん触れることができました。たとえば、日本では電車ではあまり会話はしないけれど、サンディエゴではたまたま電車であった人同士で会話をしていて驚きました。私も何度か話しかけられ現地の方と、会話しました。日本とアメリカの文化や考え方の違いを知るのは楽しく、刺激的な日々でした。

最後に、語学研修を企画していただいた先生方、スタッフの皆さまありがとうございました。



※ 記載の学年はすべて参加当時(2016 年度)のものです。